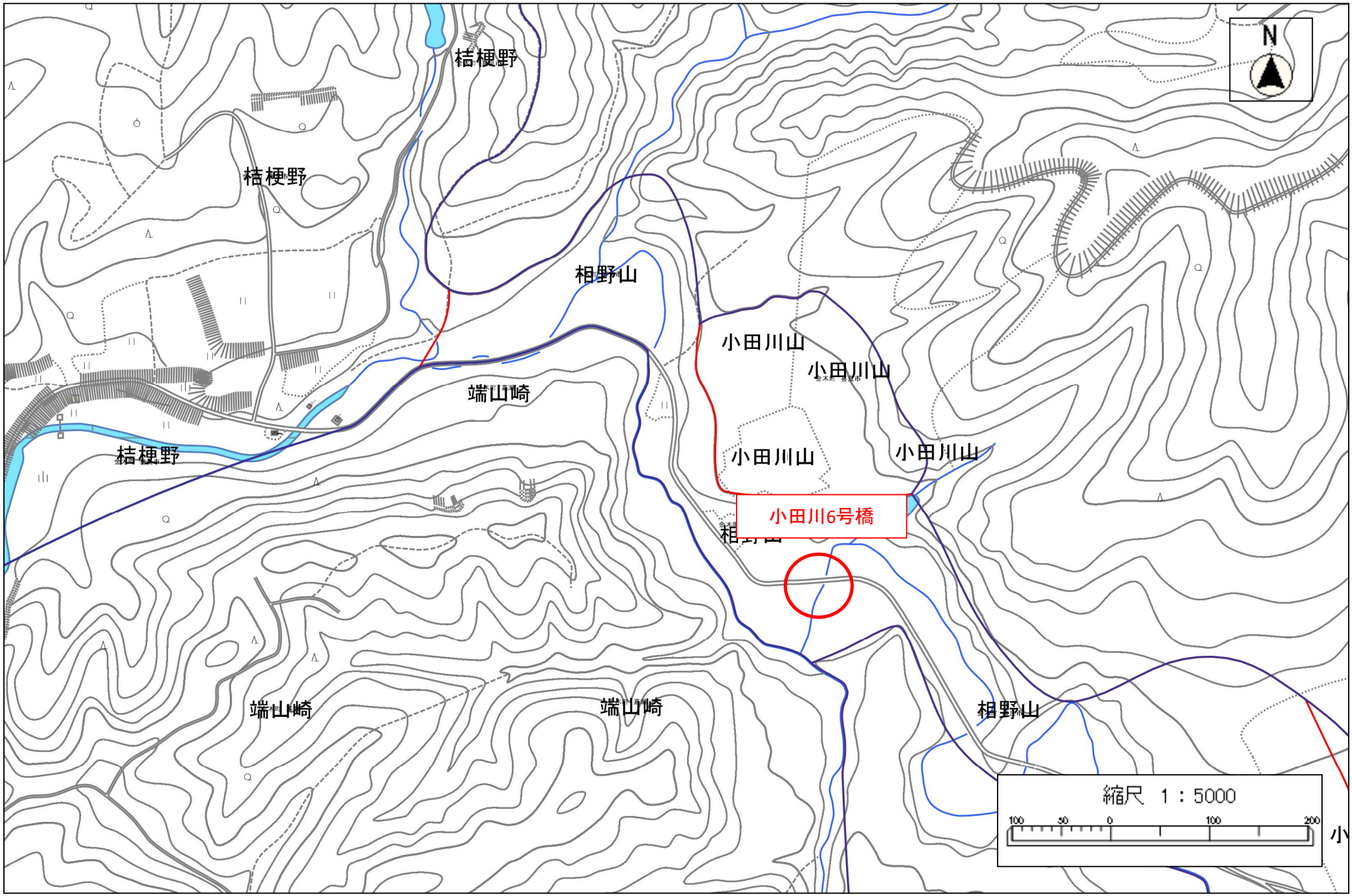
A4

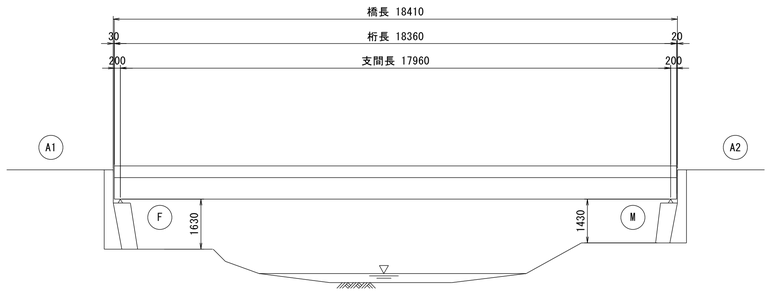

桔梗野
桔梗野
相野山
小田川山
小田川山
端山崎
桔梗野
小田川山
小田川山
小田川6号橋
端山崎
端山崎
相野山
N
縮尺 1：5000
100 50 0 100 200

令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線名 河川名	小田川山線
施工 箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 現況一般図	縮尺 図示
図面番号	１５葉中１
建設部土木課	
五所川原市	

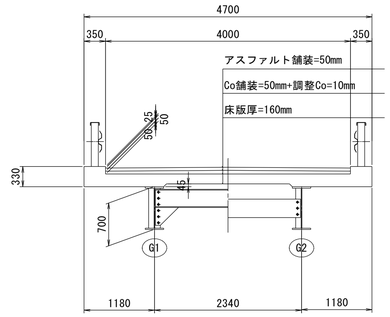
1
15

小田川６号橋　現況一般図

側　面　図 S=1:100

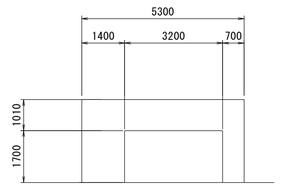


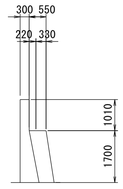
側　面　図 S=1:50



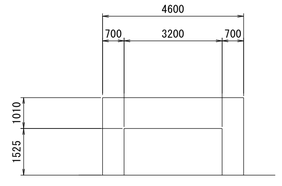
下部工図 S=1:100

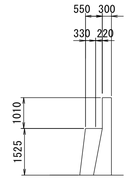
A1橋台



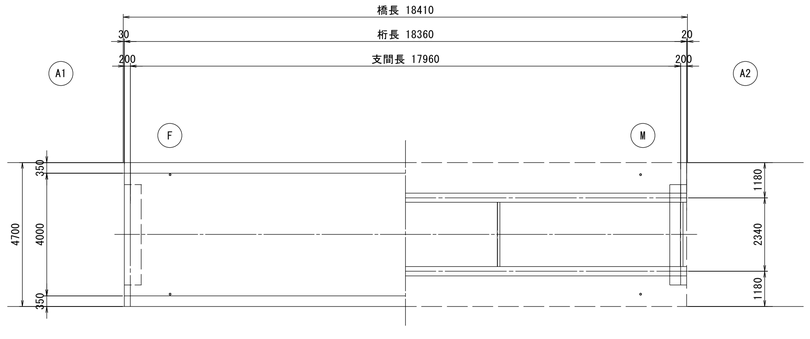


A2橋台





平　面　図 S=1:100



橋梁諸元

橋梁名	小田川6号橋
交差物件	小田川
上部工形式	鋼単純合成H桁橋
下部工形式	重力式橋台
基礎形式	直接基礎
橋長	18.410m
斜角	90° 00' 00"
全幅員	4.700m
有効幅員	4.000m
舗装	-
架設年月日	1969年11月(S44架設/50年経過)
活荷重	TL-14
適用示方書	昭和39年　道路橋示方書

注記

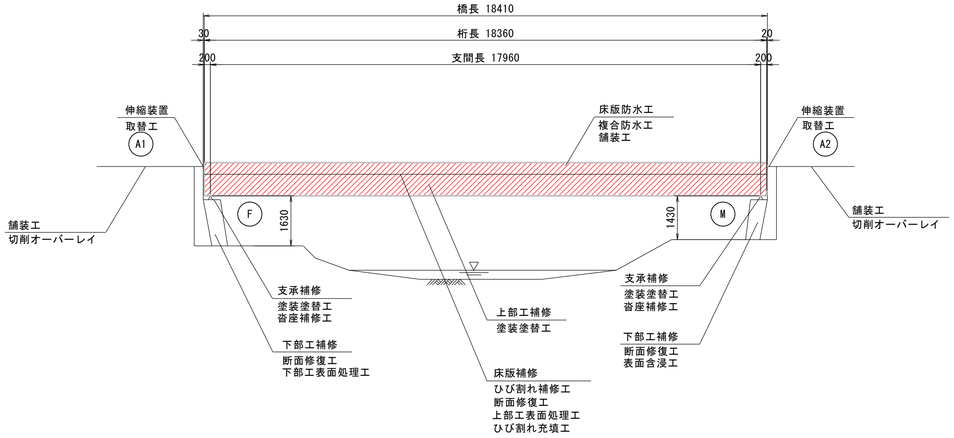
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線名 河川名	小田川山線
施工 箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 補修一般図	縮尺 図示
図面番号	１５葉中２
建設部土木課	
五所川原市	

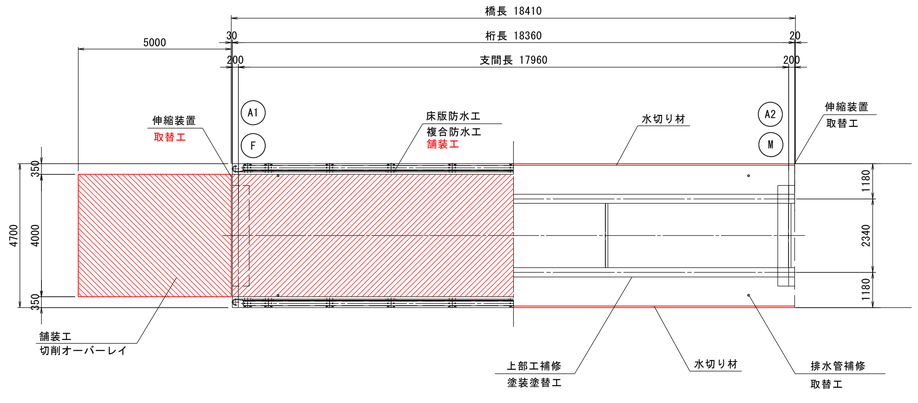
2
15

小田川６号橋　補修一般図

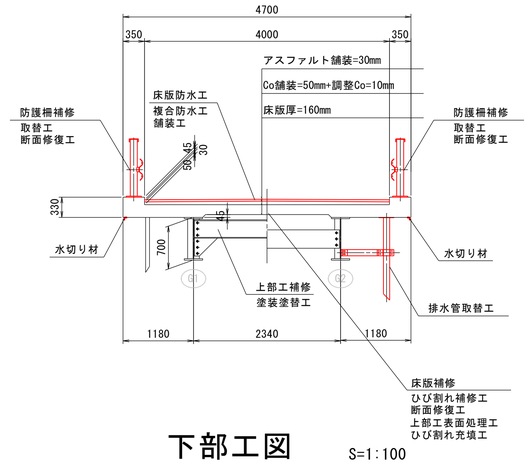
側　面　図 S=1:100



平　面　図 S=1:100

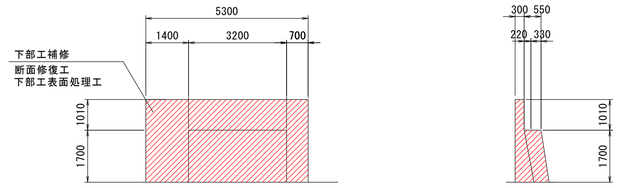


側　面　図 S=1:50

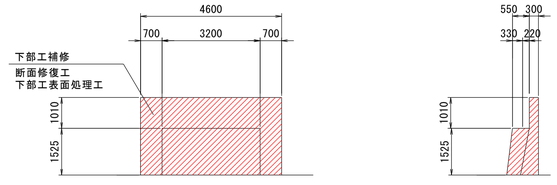


下部工図 S=1:100

A1橋台



A2橋台



補修項目

補修項目	補修工法	備　考
主桁表面処理設計	塗装塗替工	Rc-II
床版防水補修設計	床版防水工	複合防水工
	舗装工	アスファルト舗装
伸縮装置補修設計	伸縮装置取替工	取替工
下部工補修設計	断面修復工	ポリマーセメント（左官工法）
下部工表面処理設計	下部工表面処理工	高分子系
支承補修設計	塗装塗替工	金属溶射
	沓座補修工	無収縮モルタル
防護柵補修設計	防護柵取替工	取替
	断面修復工	ポリマーセメント（左官工法）
床版補修設計	断面修復工(地覆)	ポリマーセメント（左官工法）
	ひび割れ補修工	エポキシ樹脂系
	ひび割れ充填工	ポリマーセメント
	上部工表面処理工	高分子系
排水装置補修設計	排水管取替工	取替

注記

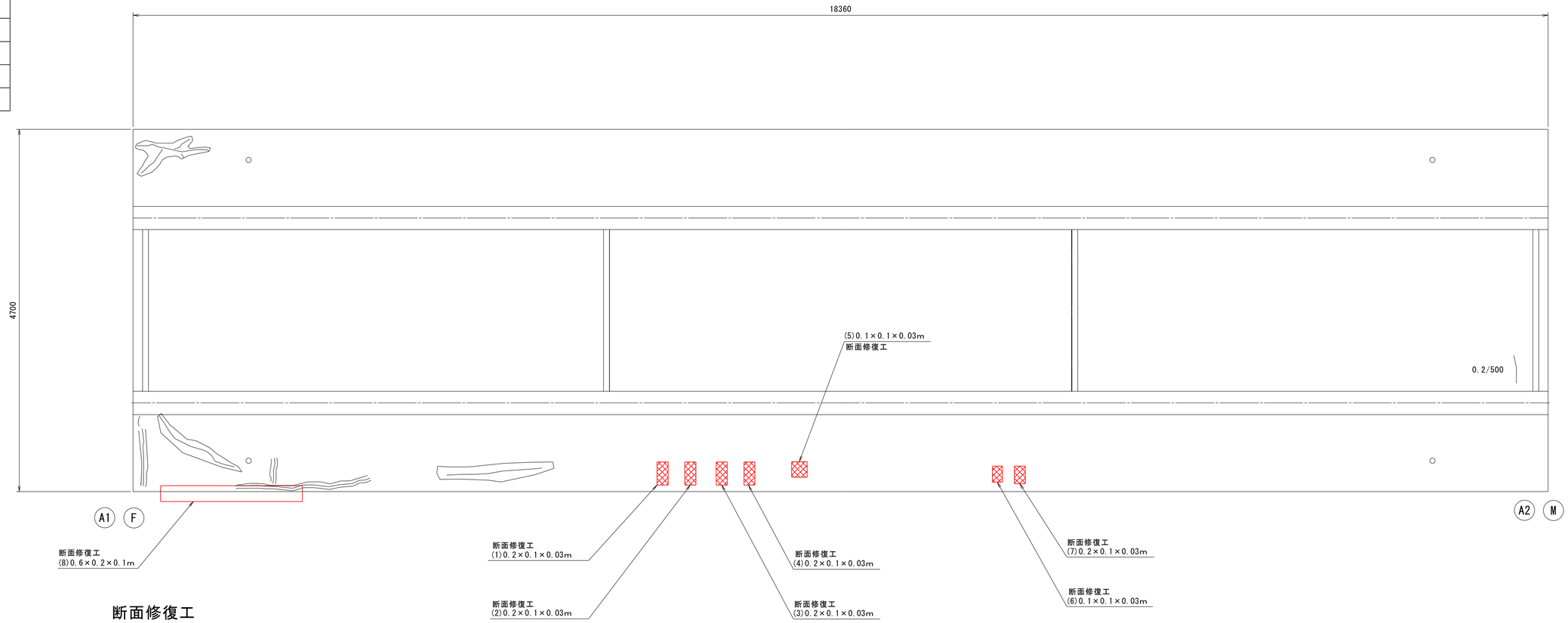
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 現況一般図	縮尺 図示
図面番号	１５葉中３
建設部土木課	
五所川原市	

3
15

小田川６号橋　床版補修図（その１） S=1:30

断面修復工



断面修復工

（左官工法）

断面修復の施工フロー

開　始

↓

損傷部の
コンクリートのはつり ・ 鉄筋の露出

↓

鉄筋の錆落し ・ 清掃

↓

鉄筋の表面に防錆材塗布

↓

※鉄筋の発錆がある場合実施する。

コンクリート面にプライマー塗布
（0.2kg/m^2）

↓

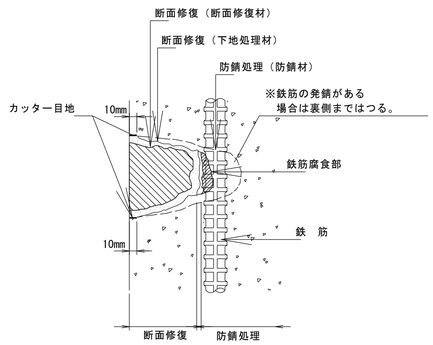
コンクリートの欠損部に充填材を充填

↓

養　生

↓

終　了



材 料 表

工　種	仕　様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防　錆　材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

防錆材品質

耐アルカリ性試験	塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	7.8 N/mm^2 以上

断面修復工数量（うき、剥離、その他）

部位	記号	幅 (mm)	長さ (mm)	深さ (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
断面修復工（左官工法）：D						
地覆側面	(1)	200	100	30	0.020	0.0006
地覆下面	(2)	200	100	30	0.020	0.0006
地覆下面	(3)	200	100	30	0.020	0.0006
地覆下面	(4)	200	100	30	0.020	0.0006
床版	(5)	100	100	30	0.010	0.0003
床版	(6)	100	100	30	0.010	0.0003
床版	(7)	200	100	30	0.020	0.0006
地覆側面	(8)	600	200	100	0.120	0.0120
	計				0.24	0.0156

※断面修復工の最小施工厚は30mmとする。

補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
断面修復工 （左官工法）	施工対象面積	m^2	0.24	(1)～(8)
	ポリマーセメントモルタル	m^3	0.0156	(1)～(8)

補修の凡例

工　種	表 示
断面修復工	

注記

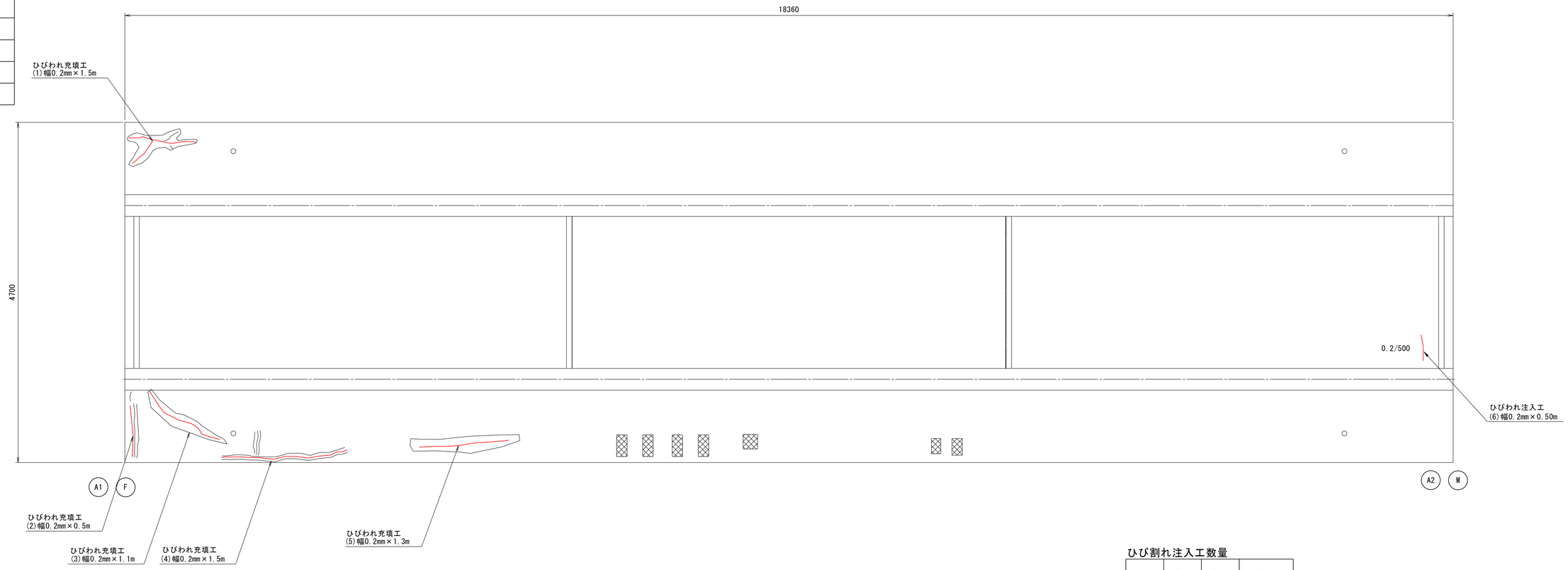
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線名 河川名	小田川山線
施工 箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 床版補修図（その２）	縮尺 図示
図面番号	１５葉中４
建設部土木課	
五所川原市	

4
15

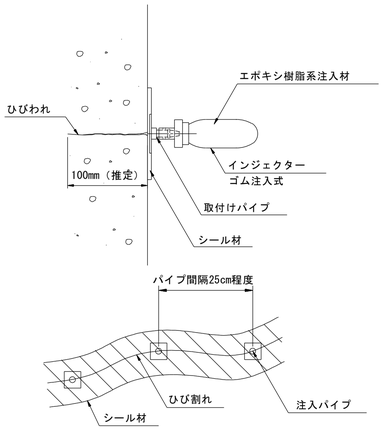
小田川６号橋　床版補修図（その２）S=1:30

ひび割れ注入工・ひびわれ充填工

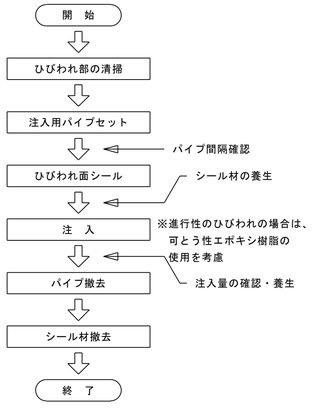


ひび割れ注入工

（ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満）
（注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法）



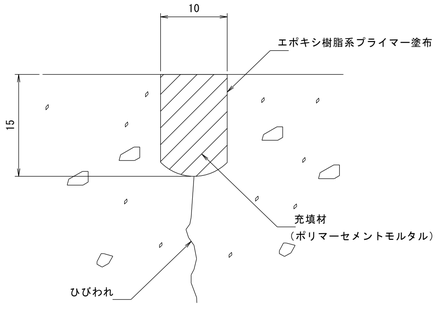
注入工のフローチャート



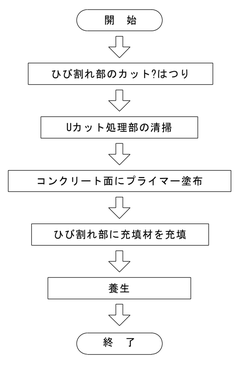
材 料 表

工 種	仕 様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材

ひび割れ充填工詳細図



※ ひびわれ幅1.0mm以上または遊離石灰により注入が困難な場合とする。



材 料 表

工 種	仕 様
鋼材防錆処理工	一液型エポキシ樹脂塗料
断面修復工	ポリマーセメント系モルタル材

ひび割れ注入工数量

部位	記号	幅(mm)	長さ(m)
床版	(6)	0.2	0.50
	計		0.50

ひび割れ充填工数量

部位	記号	幅 (mm)	長 (mm)	深さ (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
床版	(1)	10	1500	15	0.015	0.0002
〃	(2)	10	500	15	0.005	0.0001
〃	(3)	10	1100	15	0.011	0.0002
〃	(4)	10	1500	15	0.015	0.0002
〃	(5)	10	1300	15	0.013	0.0002
	計				0.06	0.0009

補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
ひび割れ充填工	施工対象面積	m^2	0.06	(1)～(5)
	ポリマーセメントモルタル	m^3	0.0009	(1)～(5)
ひび割れ注入工	ひびわれ注入材	m	0.50	(6)
	シール材	kg	0.09	(6)

補修の凡例

工 種	表 示
断面修復工	

注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

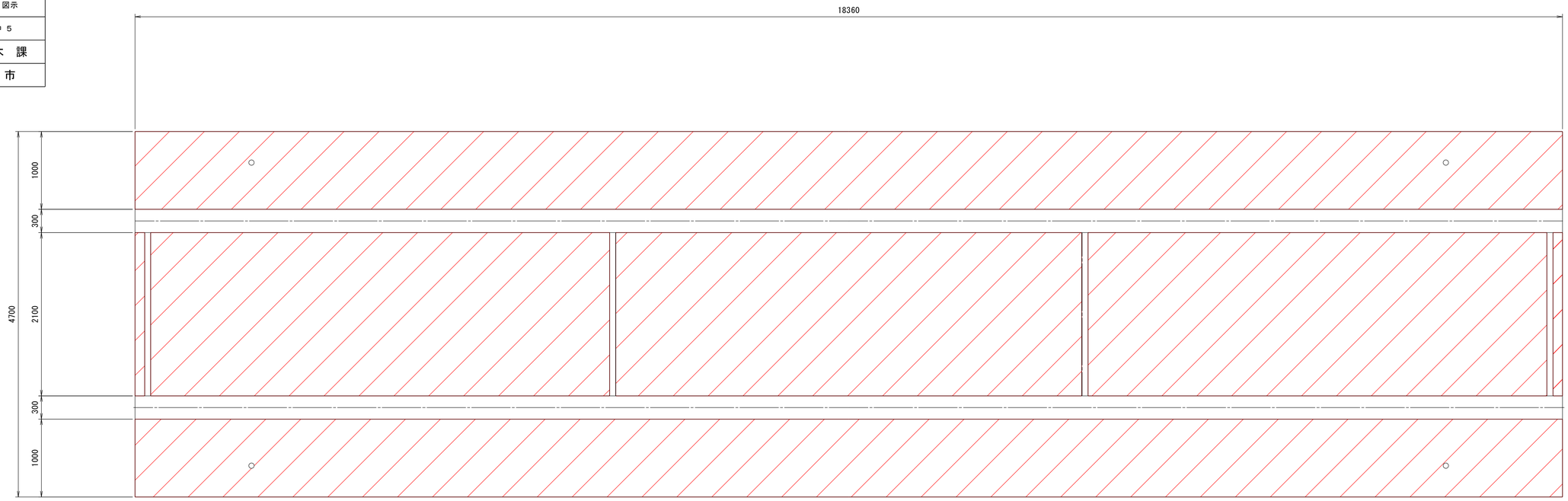
令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線名 河川名	小田川山線
施工 箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 床版塗装図	縮尺 図示
図面番号	１５葉中５
建設部土木課	
五所川原市	

5
15

A1 F

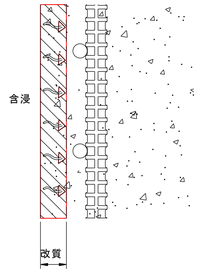
小田川６号橋　床版塗装図　S=1:30

上部工表面処理工

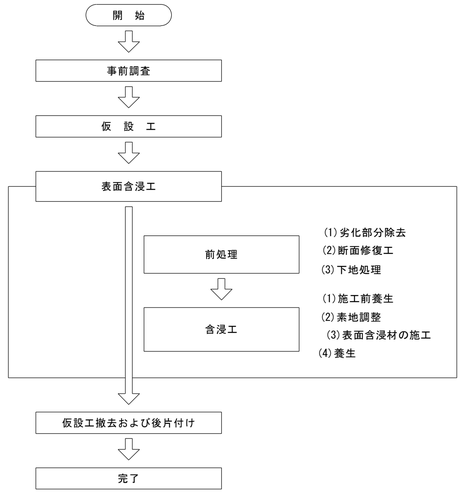


A2 M

表面含浸工



表面含浸工のフローチャート



表面含浸工面積

床版	75.3	m^2
合計	75.3	m^2

注記

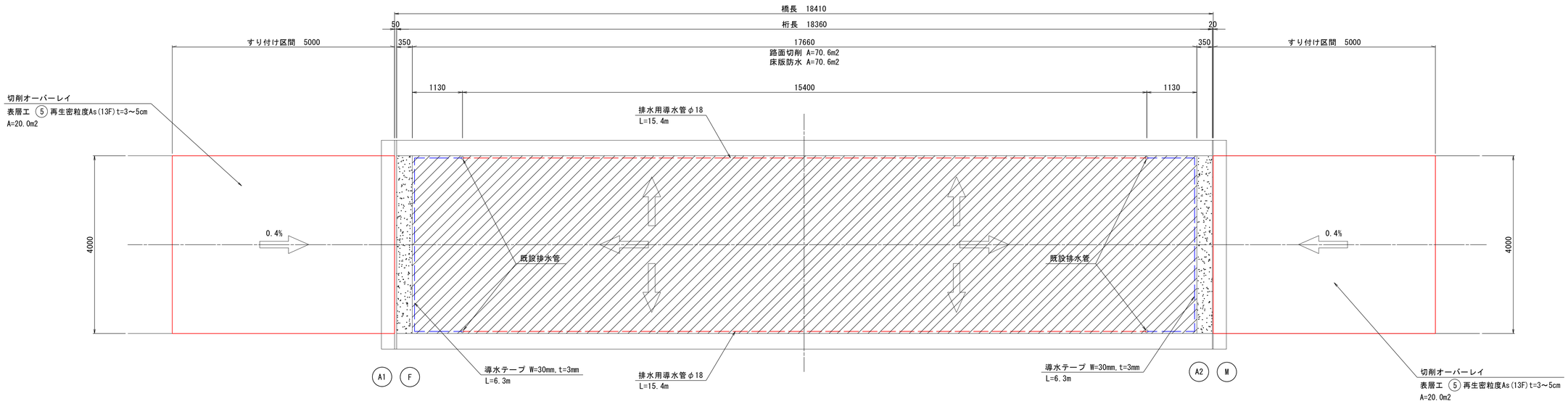
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 床版防水工図	縮尺 図示
図面番号	１５葉中６
建設部土木課	
五所川原市	

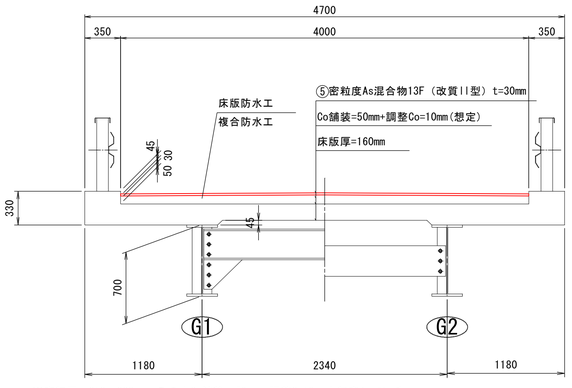
6
15

小田川６号橋　床版防水工図

断　面　図　S=1:50

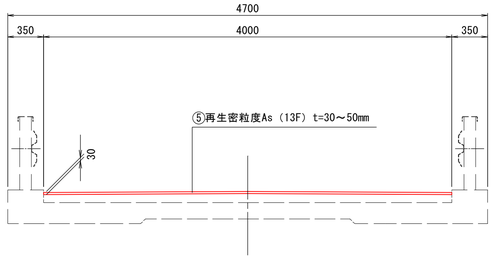


断　面　図　S=1:30



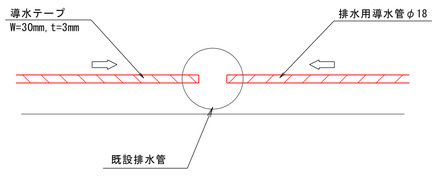
※床版厚＝210～220mm、その内Co舗装＝50mm、調整Co10mmを想定している。

断　面　図　S=1:30
（橋台背面）

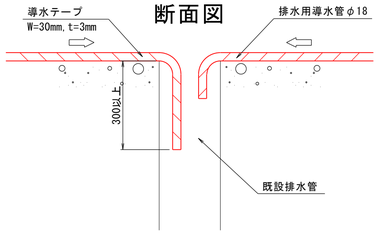


排水部流末処理詳細図

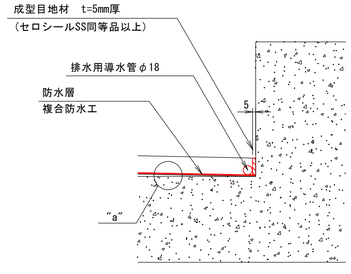
平面図



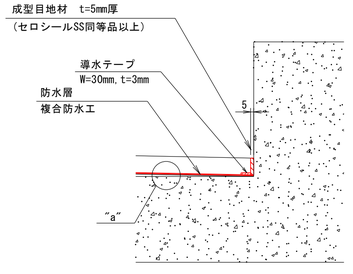
断面図



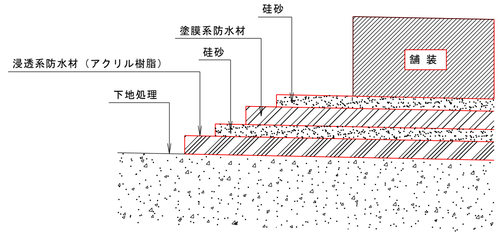
防水層詳細図
（導水管）



防水層詳細図
（導水テープ）



複合防水工（"a"部）詳細図



数　量　表

名　称	備　考	数　量
排水用導水管	φ18	30.8 m
導水テープ	W=30mm, t=3mm	12.5 m
防水層	複合防水工	70.6 m2
成型目地材（t=5mm）	セロシールSS同等品以上	35.3 m
アスファルト舗装	⑤　密粒度As混合物13F(改質Ⅱ型)　t=50mm	70.6 m2
アスファルト舗装(すり付け区間)	⑤　再生密粒度As混合物13F(13F)　t=30～50mm	40.0 m2

注記

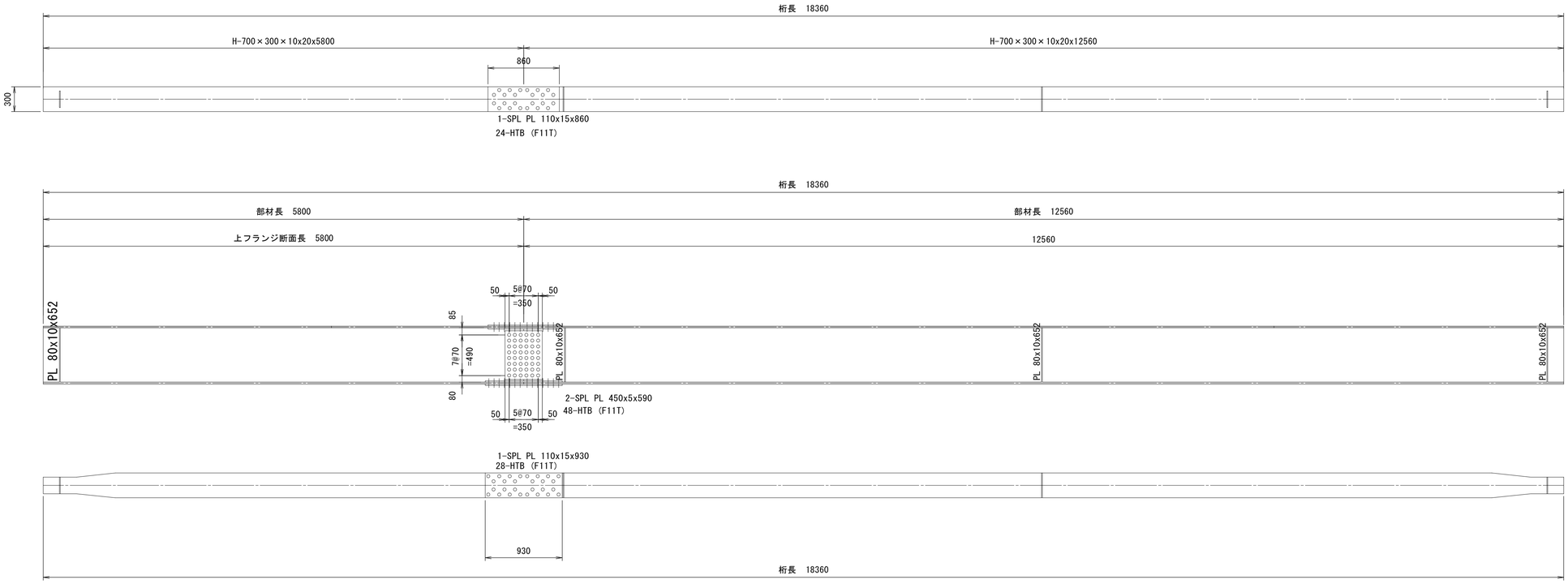
1. 本図面は、既存資料・現地検測をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
4. 既存舗装は確実に撤去し橋面防水を設置すること。
5. 床版への影響を考慮し、適切な施工をすること。
6. 舗装撤去後に床版上面を点検し、コンクリート脆弱部は補修すること。
7. 排水装置周りの防水層は、細心の注意を払って施工を行うこと。
8. 排水桝に土砂溜まりがある場合は、土砂を取り除き清掃を行うこと。

令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線名 河川名	小田川山線
施工 箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 現況一般図	縮尺 図示
図面番号	１５葉中７
建設部土木課	
五所川原市	

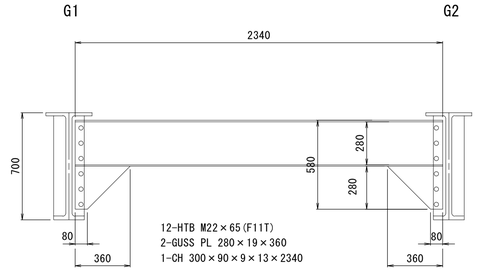
7
15

小田川６号橋　上部工塗装図　S=1:30

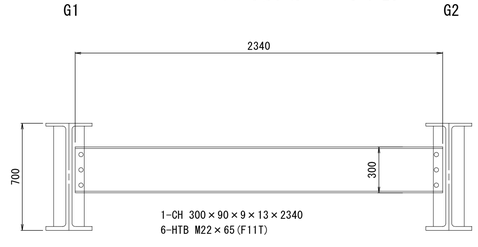
主　桁



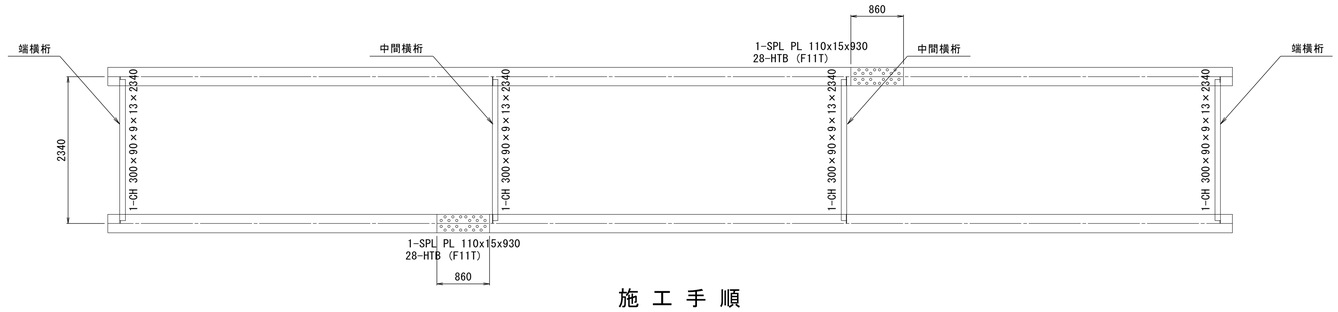
端横桁　S=1:20



中間横桁　S=1:20



横　桁　S=1:50

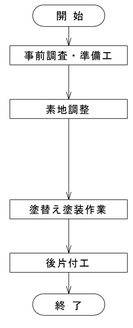


Rc-II塗装系（はけ、ローラー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m²)	塗装間隔
素地調整	２　種		4時間以内
下　塗	有機ジンクリッチペイント	(240)	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下　塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中　塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上　塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	

※素地調整程度2種ではあるが、健全なジンクリッチプライマーやジンクリッチペイントを残し、ほかの旧塗膜を全面除去した場合は、鋼材露出部のみ有機ジンクリッチペイントを塗付する。この際、使用量の目安は240g/m2程度とする。素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジンクリッチペイントの使用量が600g/m2とする。

施　工　手　順



・塗膜除去を行い、湿式でケレンを行う。

・素地調整程度２種を行う。腐食、発錆している部分の除去するとともに、旧塗膜の活膜上の付着物等も完全除去する。
素地調整によって生じた旧塗膜のケレンダストは、有害物を含んでいることが多いので、周辺の土壌や河川を汚さないように十分留意するとともに、その廃棄は適切に行う。

・塗装は、はけ、ローラー塗りとする。塗装は素地調整終了後、４時間以内に下塗りを行う。塗り重ねは、前工程の塗膜が十分乾燥してから行う。

塗膜除去剤
水系塗膜剥離剤

注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
4. 再塗装工の色は監督職員と協議して決定すること。
5. 現地調査時(R1.11/8)は、遅れ破壊は確認されていない。
F11Tを使用しているため、定期的な経過観察を行うこと。

小田川６号橋　支承補修図

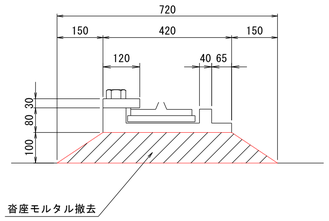
S=1:10

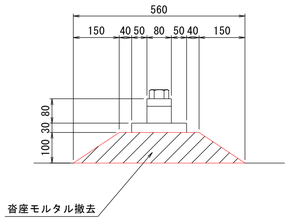
令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土　第　１２　号
路線河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町　地内
小田川６号橋 支承補修図	縮尺　図示
図面番号	１５葉中８
建設部土木課	
五所川原市	

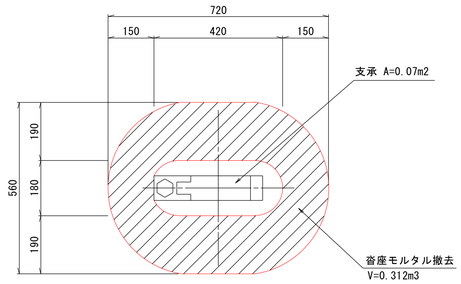
8
15

Mov(A1橋台)

補修前

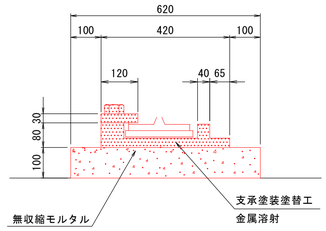


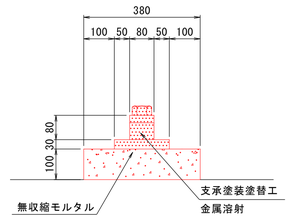


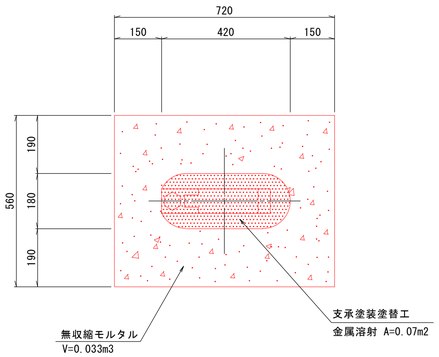


※支承下のモルタルは残置させたままとする。

補修後

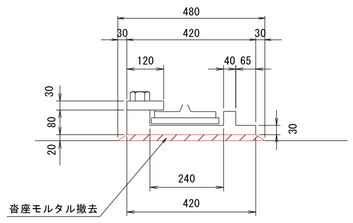


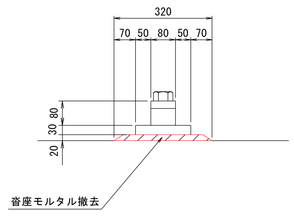


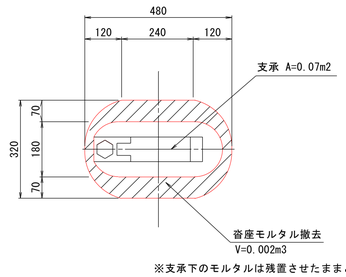


Fix(A2橋台)

補修前

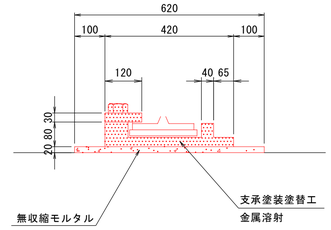


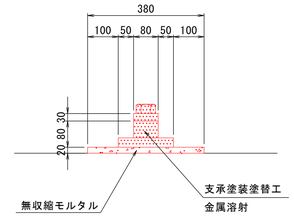


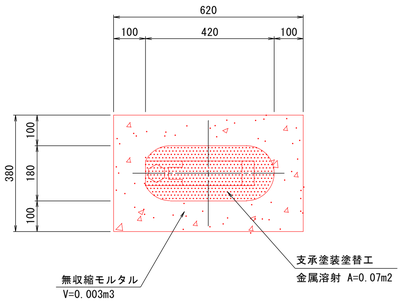


※支承下のモルタルは残置させたままとする。

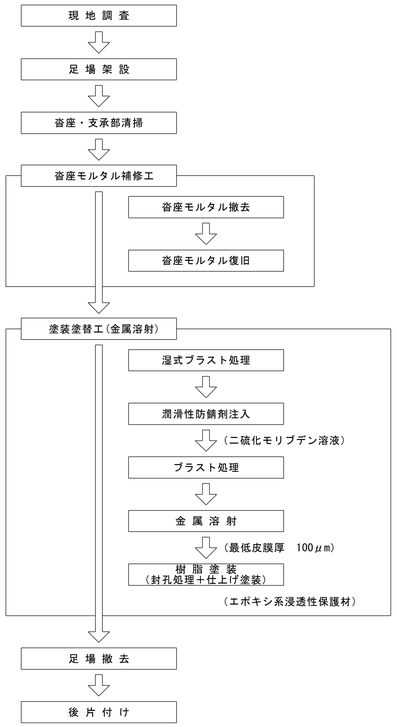
補修後







支承補修工施工フロー



数量表

名称	備考	数量
支承塗装塗替工	金属溶射（1500kN以下）	4　基
沓座モルタル撤去工		0.07　m^3
沓座モルタル復旧工	無収縮モルタル	0.07　m^3
	型枠	0.59　m^2

注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 排水装置補修図	縮尺 図示
図面番号	１５葉中９
建設部土木課	
五所川原市	

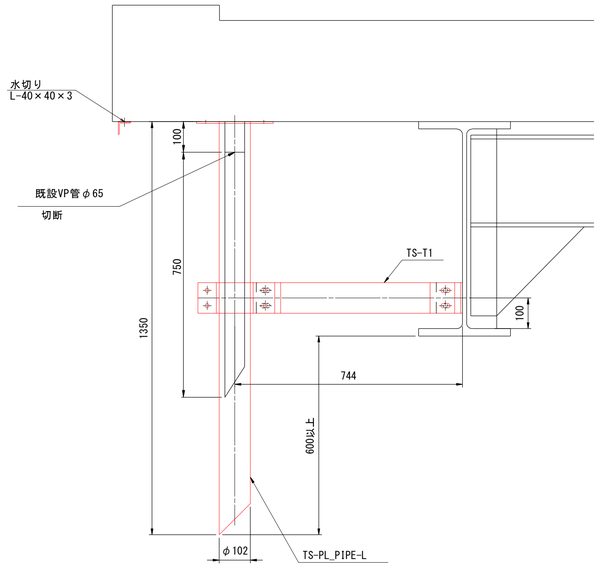
9
15

小田川６号橋　排水装置補修図

TSステンレス排水装置

断面図

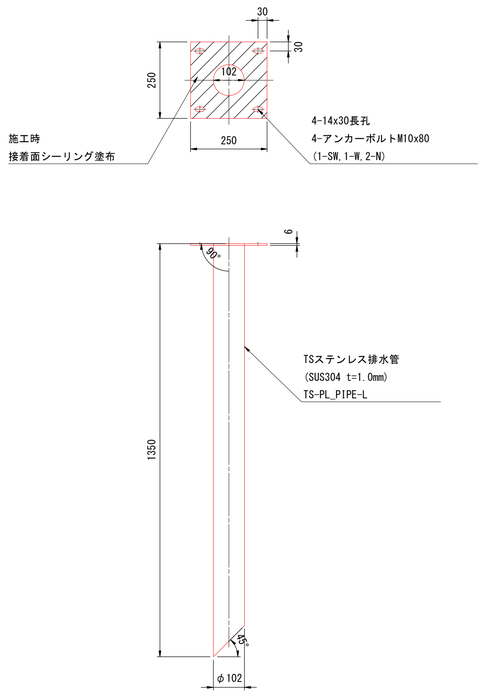
S=1:10



天板プレート一体型排水装置 TS-PL_PIPE-L

製作数=1

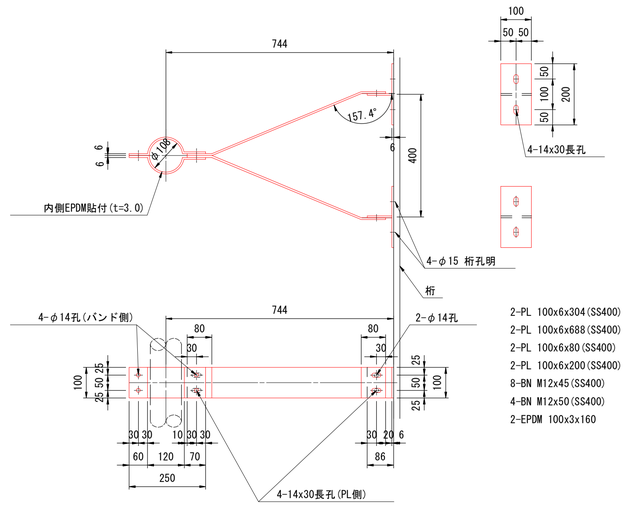
NETIS No.CB-190003-Aに準ずる



取付金具詳細図

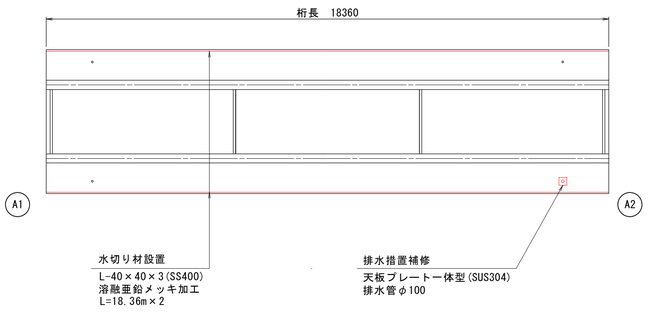
TS-T1

製作数=1



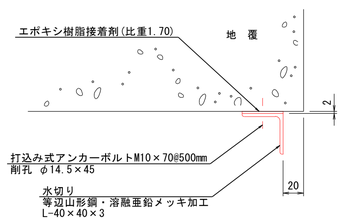
位置図

S=1:100



水切り設置詳細図

S=1:3



注）1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No.CB-190003-Aに準ずる。
4. SS400は全て溶融亜鉛メッキ
（特記なき場合は JIS H 8641 HDZT77）
仕上げを行う。但し、ボルト類はHDZT49とする。
5. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し
耐食性向上の措置を講じる。
6. 現地調査にて寸法確定後製作する。

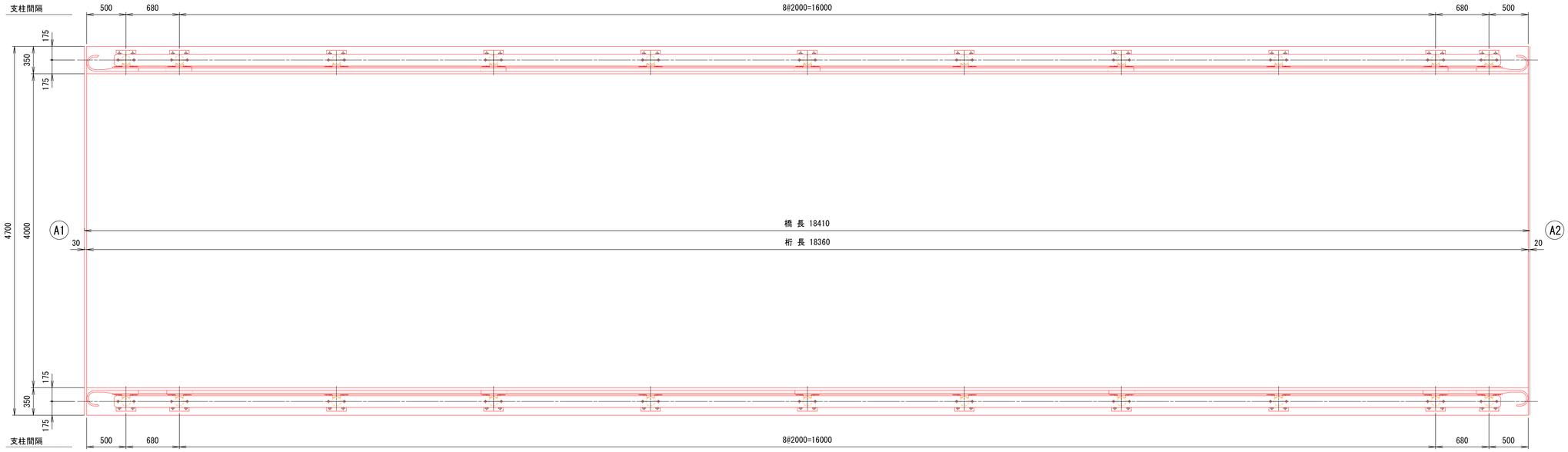
令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 防護柵補修図(その１)	縮尺 図示
図面番号	１５葉中１０
建設部土木課	
五所川原市	

10
15

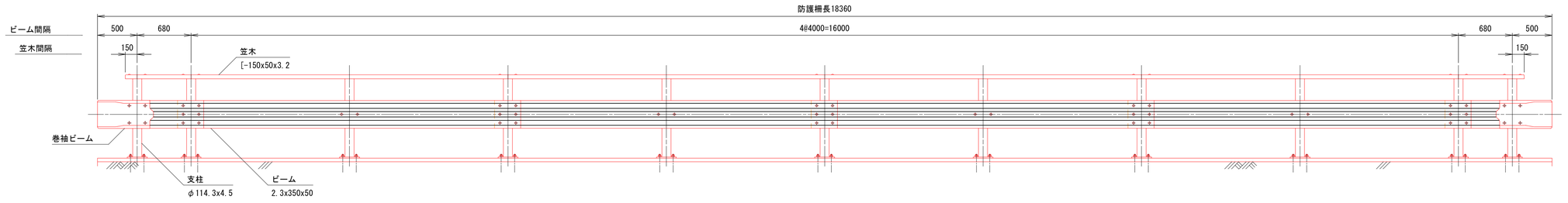
小田川６号橋　防護柵補修図（その1）

Gr-C-2B-4

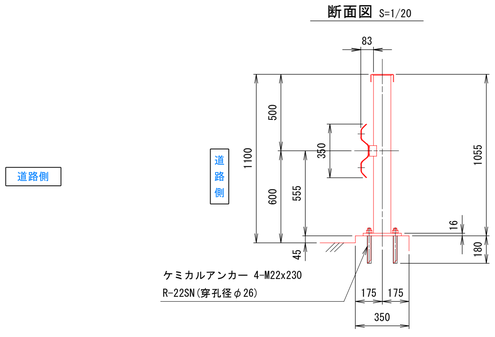
平面図 S=1/30



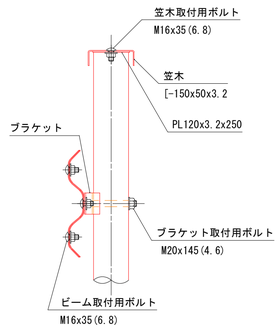
正面図 S=1/30



断面図 S=1/20



取付詳細図 S=1/10



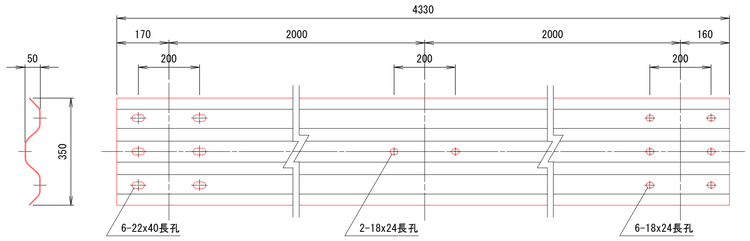
令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線名 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 防護柵補修図(その２)	縮尺 図示
図面番号	１５ 葉中 １１
建設部土木課	
五所川原市	

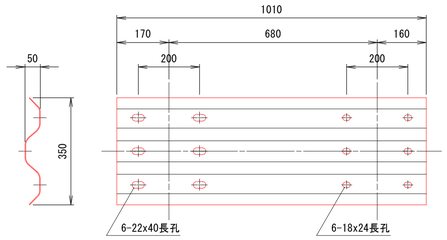
11
15

小田川６号橋　防護柵補修図（その２）

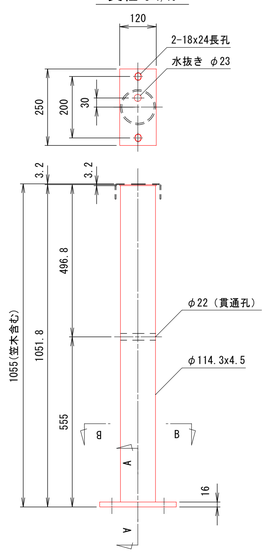
Gr-C-2B-4

ビーム S=1/10

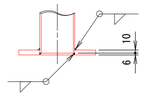




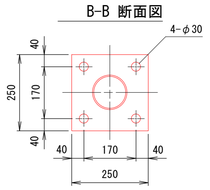
支柱 S=1/10



A-A 断面図



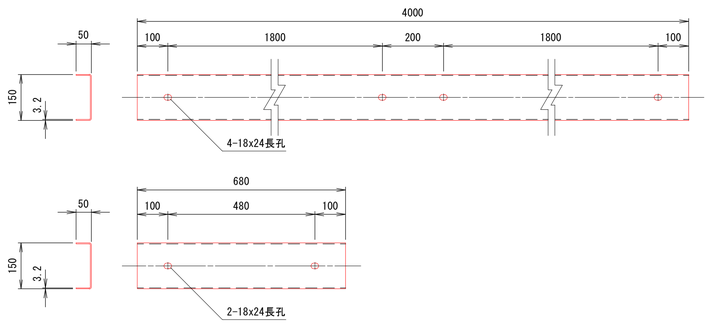
B-B 断面図



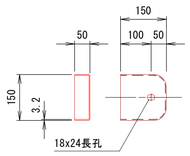
材料表

品 名	形 状・寸 法	数量	備 考
支柱	φ114.3x4.5x1055	22	BPL含む
ビーム	2.3x350x4330	8	4000用，中間孔有り
	2.3x350x1010	4	680用
巻袖ビーム	2.3x356x660	4	
笠木	[-150x50x3.2x4000	8	
	[-150x50x3.2x680	4	
端部笠木	[-150x50x3.2x150	4	
ブラケット	6x70x31x300	22	
ブラケット取付用ボルト	M20x145	22	(4.6)
笠木・ビーム取付用ボルト	M16x35	144	(6.8)
ケミカルアンカー	R-22SN	88	
アンカーボルト	M22x230	88	(4.6)

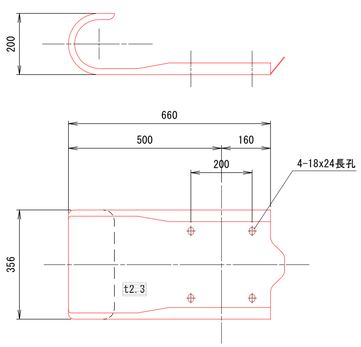
笠木 S=1/10



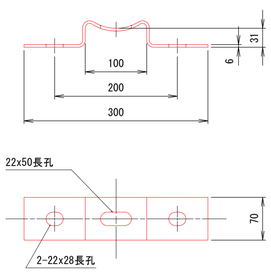
端部笠木 S=1/10



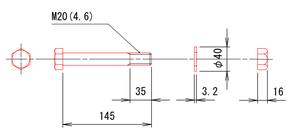
巻袖ビーム S=1/10



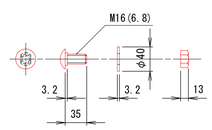
ブラケット S=1/5



ブラケット取付用ボルト S=1/5



笠木・ビーム取付用ボルト S=1/5

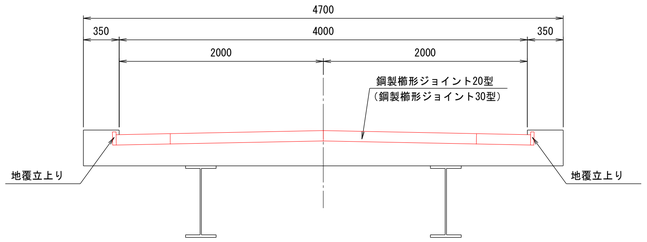


小田川６号橋　伸縮装置詳細図（参考図）

令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土　第　１２　号
路線河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 伸縮装置詳細図	縮尺　図示
図面番号	１５葉中１２
建設部土木課	
五所川原市	

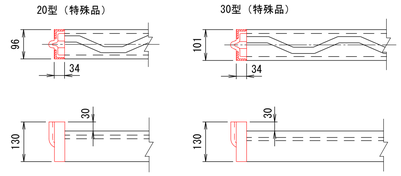
12
15

横断面図
S=1/30



※　（）内は Ⓐ2 部の記述を示す。

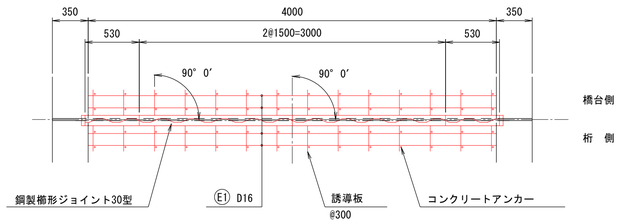
地覆立上り部詳細図
S=1/10



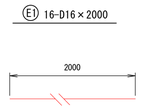
配置図
S=1/100



Ⓐ2 平面図
S=1/30



補強鉄筋加工図

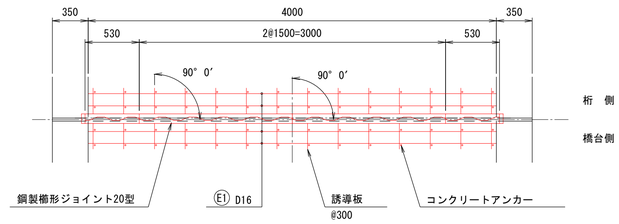


伸縮装置取付工事材料表

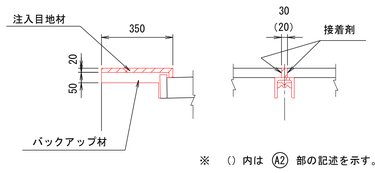
材料名	種類	寸法	数量	摘要
鋼製楯型ジョイント	降雪地向け仕様20型 誘導板：90°取付け	96×100×1500	2　本	合計　4.06　m
		96×100×530	2　本	地覆立上り付き
	降雪地向け仕様30型 誘導板：90°取付け	101×100×1500	2　本	合計　4.06　m
		101×100×530	2　本	地覆立上り付き
地覆立上り	降雪地向け仕様20型用（特殊品）	96×130×34	2　本	
	降雪地向け仕様30型用（特殊品）	101×130×34	2　本	
後打ち材	超速硬コンクリート	650×120×8000	0.624　m3	
補強鉄筋	E1	16-D16×2000	49.9　kg	
コンクリートアンカー	D筋アンカー	D16	112　本	
注入目地材	シール材	30×20×790	0.5　ℓ	合計　0.8　ℓ
		20×20×790	0.3　ℓ	
接着剤	プライマー No.40		500　g	最小ロット
バックアップ材	ウレタンフォーム	60×50	0.8　m	
		40×50	0.8　m	
接着剤	ゴム系溶剤型接着剤 （クロロプレンゴム系）		100　g	最小ロット

※　伸縮装置の切断寸法及び切断角度は現地実測結果を反映して決定する。

Ⓐ1 平面図
S=1/30

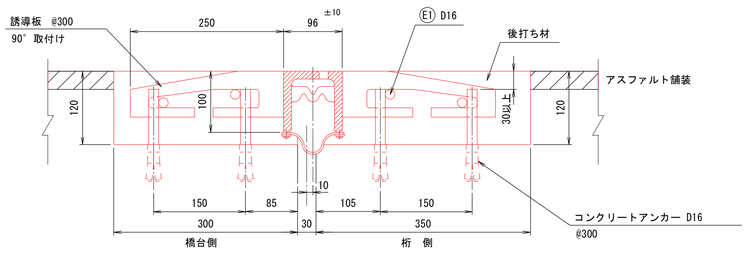


地覆部止水工詳細図
S=1/15

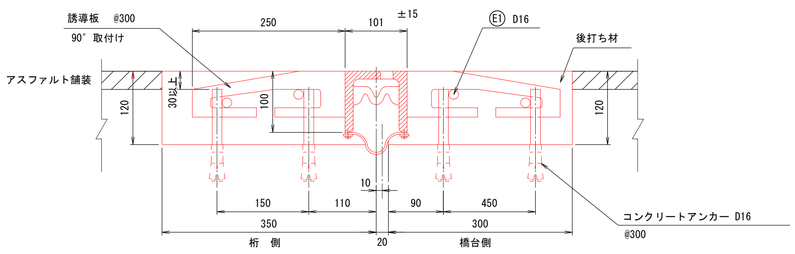


※　（）内は Ⓐ2 部の記述を示す。

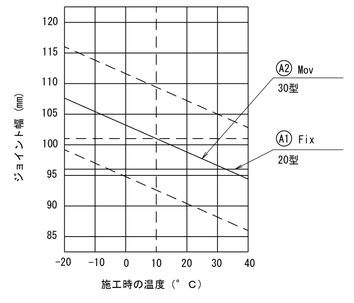
Ⓐ1 取付断面図
YFS-20型　S=1/5



Ⓐ2 取付断面図
YFS-30型　S=1/5



初圧縮グラフ



1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線名 河川名	小田川山線
施工 箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 下部工補修図	縮尺 図示
図面番号	１５ 葉中 １３
建 設 部 土 木 課	
五 所 川 原 市	

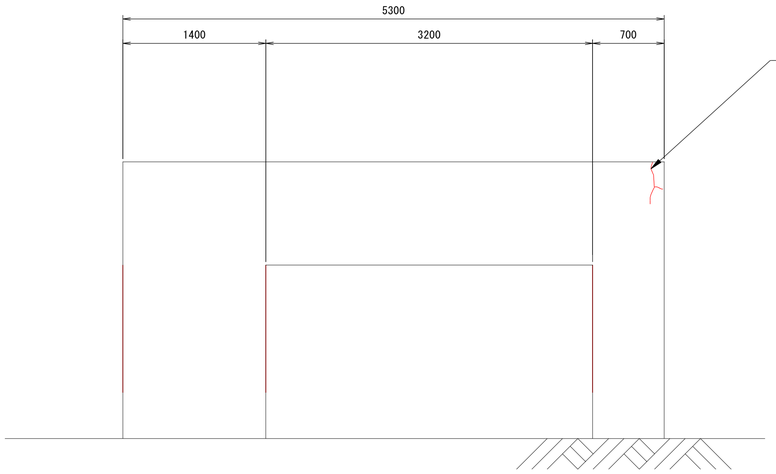
13
15

小田川６号橋　下部工補修図　S=1:30

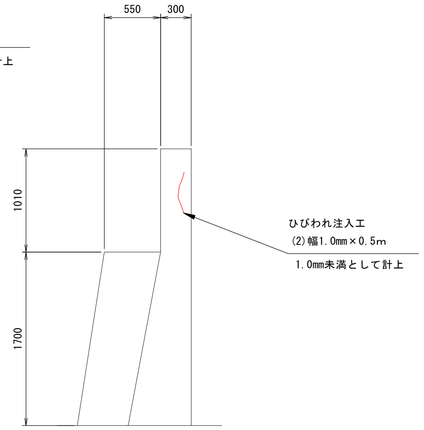
断面修復工・ひび割れ注入工

A1橋台

正面図

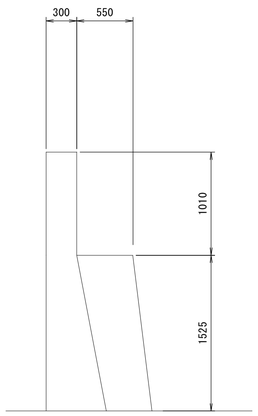


右側面

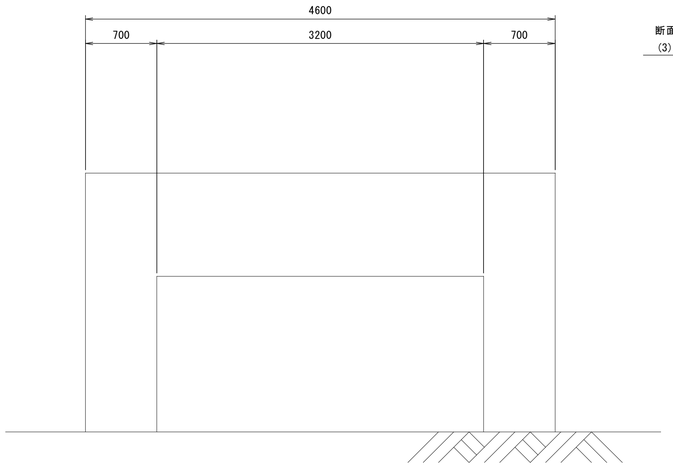


A2橋台

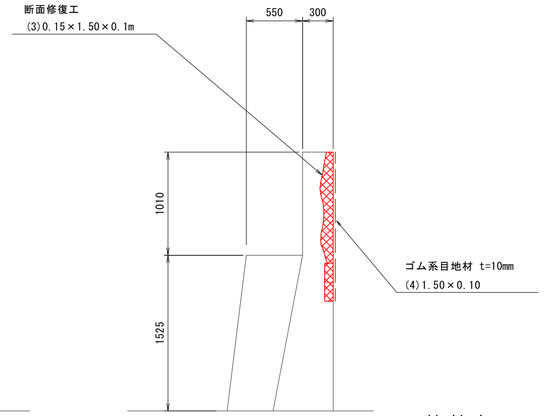
左側面



正面図

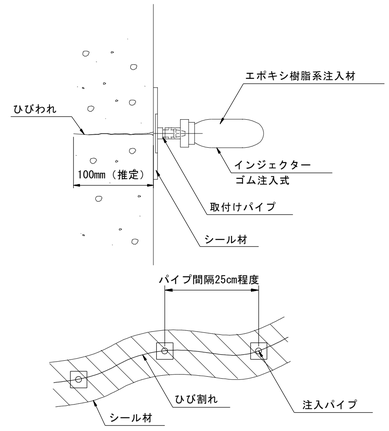


右側面

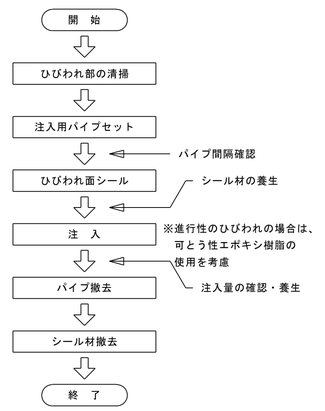


ひび割れ注入工

（ひびわれ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満）
（注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法）



注入工のフローチャート



ひびわれ注入工数量

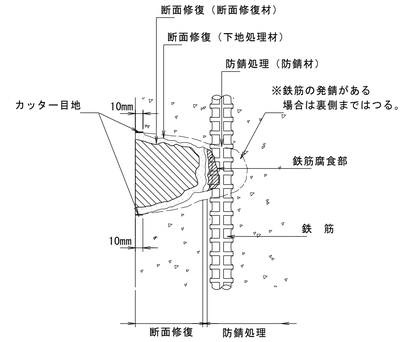
部位	記号	幅(mm)	長さ(m)
胸壁	(1)	1.0	0.5
	(2)	1.0	0.5
	計		1.0

材 料 表

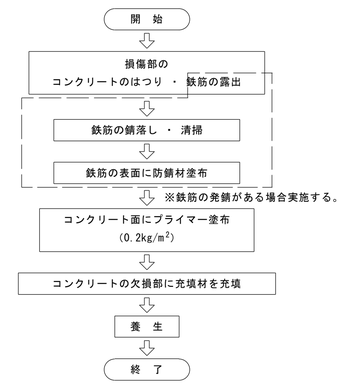
工 種	仕 様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材

断面修復工

（左官工法）



断面修復の施工フロー



材 料 表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防 錆 材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー

防錆材品質

耐アルカリ性試験	塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ試験	7.8 N/mm2 以上

断面修復工数量（うき、剥離、その他）

部位	記号	幅 (mm)	長さ (mm)	深さ (mm)	面積 (m2)	体積 (m3)
断面修復工(左官工法)：D						
翼壁	(3)	150	1500	100	0.225	0.0225
	計				0.23	0.0225

目地工数量

工種	仕様	長さ (mm)	幅 (mm)	面積 (m2)	記号
目地材	ゴム系 t=10mm	1500	100	0.150	(4)
				0.15	

補修の凡例

工 種	表 示
断面修復工	

補修数量表

工種	仕様	単位	数量	摘要
ひび割れ注入工	ひびわれ注入材	m	1.0	(1)、(2)
	シール材	kg	0.15	(1)、(2)
断面修復工 (左官工法)	施工対象面積	m^2	0.23	(3)
	ポリマーセメントモルタル	m^3	0.0225	(3)
	ゴム系目地材 t=10mm	m^2	0.15	(4)

注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土 第 １２ 号
路線名 河川名	小田川山線
施工 箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 下部工塗装図	縮尺 図示
図面番号	１５ 葉中 １４
建 設 部 土 木 課	
五 所 川 原 市	

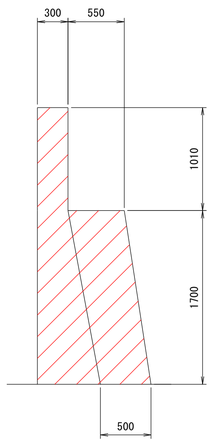
14
15

小田川６号橋　下部工塗装図　S=1:30

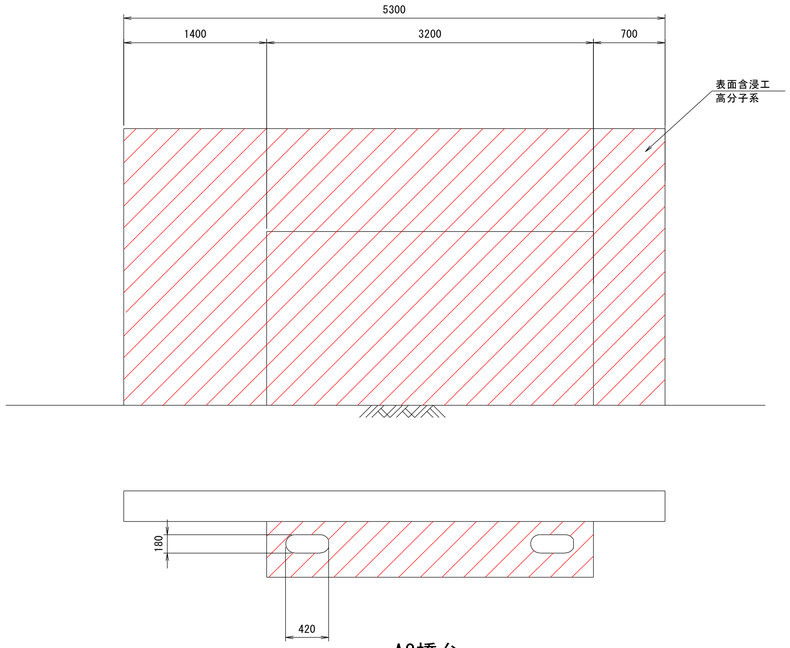
下部工表面処理工

A1橋台

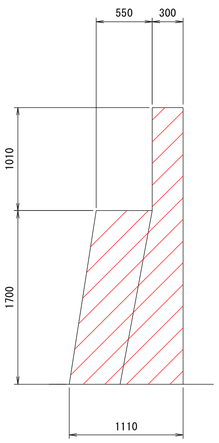
左側面



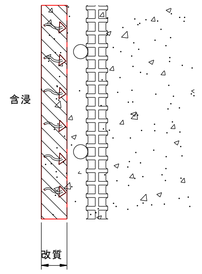
正面図



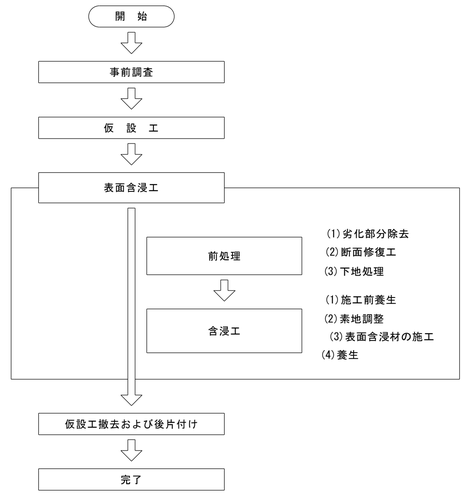
右側面



表面含浸工

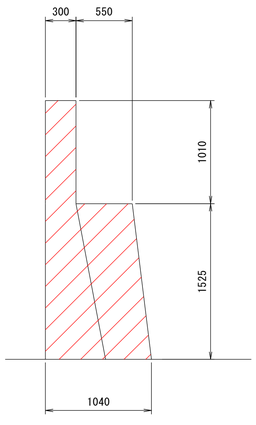


表面含浸工のフローチャート

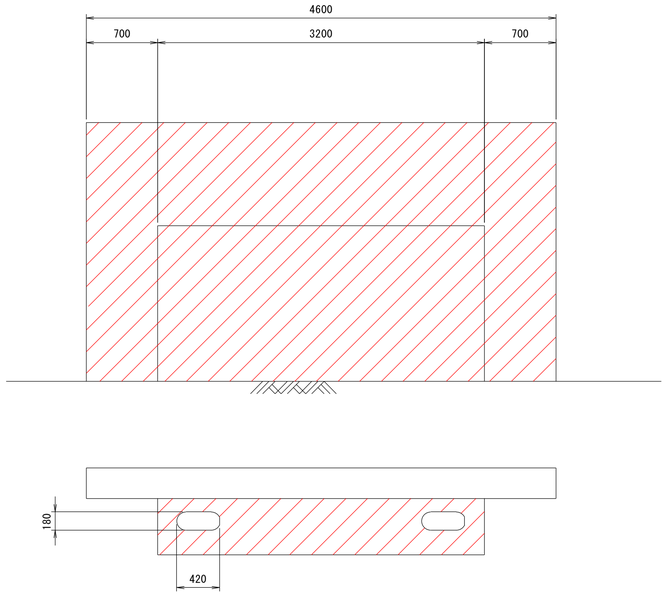


A2橋台

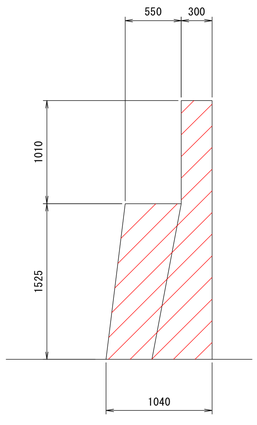
左側面



正面図



右側面



表面含浸工面積

A1橋台	19.0	m^2
A2橋台	16.9	m^2
合計	35.9	m^2

注記

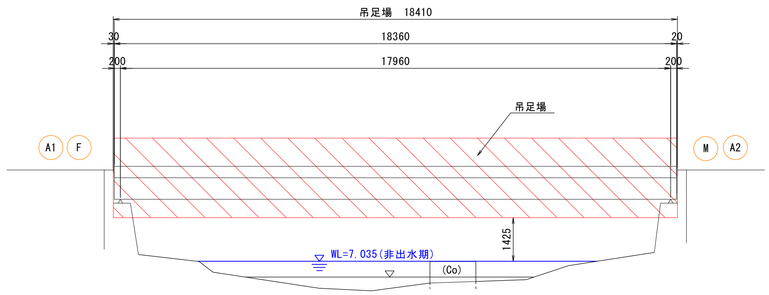
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。

小田川６号橋　施工計画図（案）

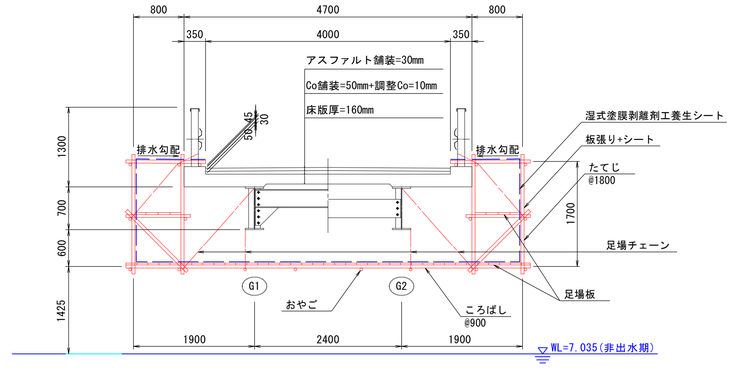
令和８年度 小田川６号橋補修工事	
工事番号	土　第　１２　号
路線名 河川名	小田川山線
施工箇所	五所川原市金木町 地内
小田川６号橋 施工計画図（案）	縮尺　図示
図面番号	１５葉中１５
建設部土木課	
五所川原市	

15
15

側　面　図　　S=1:100



側　面　図　　S=1:50



平　面　図　　S=1:100

